

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第57期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	石垣食品株式会社
【英訳名】	ISHIGAKI FOODS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石垣 裕義
【本店の所在の場所】	東京都千代田区飯田橋1丁目4番1号
【電話番号】	03 - 3263 - 4444
【事務連絡者氏名】	経理部経理課課長 小西 一幸
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区飯田橋1丁目4番1号
【電話番号】	03 - 3263 - 4444
【事務連絡者氏名】	経理部経理課課長 小西 一幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第56期 第2四半期 連結累計期間	第57期 第2四半期 連結累計期間	第56期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高（百万円）	403	359	716
経常損益（百万円）	19	33	27
四半期（当期）純損益（百万円）	17	28	22
四半期包括利益又は包括利益（百万円）	18	23	31
純資産額（百万円）	377	363	391
総資産額（百万円）	502	483	489
1株当たり四半期（当期）純損益金額（円）	5.23	8.44	6.66
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	-	-	-
自己資本比率（％）	75.2	75.3	79.9
営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	0	3	7
投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	2	41	31
財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	3	5	6
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高（百万円）	88	108	71

回次	第56期 第2四半期 連結会計期間	第57期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純損益金額（円）	1.62	8.12

- （注）1．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2．売上高には消費税等は含まれておりません。
- 3．潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、主にごぼう茶の大幅減収及びビーフジャーキーの採算悪化から、売上高359百万円（前年同四半期比10.9%減）、営業損失31百万円（前年同四半期は営業利益22百万円）、経常損失33百万円（前年同四半期は経常利益19百万円）、四半期純損失28百万円（前年同四半期は四半期純利益17百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

飲料事業

ごぼう茶の大幅減収を主因として、減収減益となりました。主力の麦茶は前期比3.2%の減収と比較的好調であった前期並みをほぼ維持し、烏龍茶も前期比19.3%の増収、杜仲茶も春にテレビの健康番組で紹介された影響から前期比261.3%と増収で、既存商品は比較的好調を維持しました。しかしごぼう茶が、前期にブームがあり大きく伸ばした反動を受けて前期比42.7%減の大幅な減収となり、工場稼働率が低下し、収益面、利益面でも大きなマイナスとなりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高185百万円（前年同四半期比14.5%減）、営業利益19百万円（前年同四半期比50.2%減）となりました。

珍味事業

ビーフジャーキーは、ここ数年増収を続けており、今期においても駄菓子やディスカウント店向けを中心としたOEM商品が堅調に推移しました。しかし自社ブランド商品がスーパー等小売店の独自ブランド（PB）商品の擁立や商品絞り込み等の影響から競争が激化したほか、近年、震災等の影響や景況感の悪さから受けて内食傾向のあった消費者に景況感の好転を受けた外食への回帰があったと見られ、微減となりました。

損益面では、従来から原材料費及び人件費の上昇、純輸入事業であることに伴う円安による採算悪化の影響を受けておりましたが、主原料である牛肉の中国国内での高騰が予想を大幅に上回る水準で進行し、業績を大幅に悪化させておりました。これらに対して、主要原料である牛肉を、高騰の続く中国産から豪州産への切替えを進めるほか、商品の内容量減少による実質値上げを行うことで利益の確保を見込んでおりましたが、これらの切替えが、当初予定より遅れたことや、その間に中国産牛肉の価格が異常な高騰を続けたことから、中国子会社で大幅な赤字を計上する事となりました。

それらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高171百万円（前年同四半期比5.9%減）、営業損失7百万円（前年同四半期比は営業利益26百万円）となりました。

その他

その他事業では、だしのもとは堅調に推移したものの、業務用乾燥ナルトは減収が止まらず、その他事業合計は減収となりました。減収ではあったものの、基本的に委託を主体とする事業であることから損益面では黒字を確保しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2百万円（前年同四半期比37.9%減）、営業利益0百万円（前年同四半期比67.6%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より36百万円増加し、108百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは3百万円の使用（前年同四半期は0百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失の計上があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは41百万円の獲得（前年同四半期は2百万円の使用）となりました。これは主に定期預金の払戻しによる収入、投資有価証券の売却による収入等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは5百万円の使用（前年同四半期は3百万円の使用）となりました。これは配当金の支払い及びリース債務の返済による支出によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、5百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,390,000	3,390,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	3,390,000	3,390,000	-	-

(注) 当社は平成25年8月28日開催の取締役会において、単元株式数を1,000株から100株に変更する旨の決議(効力発生日は平成25年10月1日)をいたしました。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	3,390	-	300,000	-	-

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住 所	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
(株)神戸物産	兵庫県加古郡稲美町中一色883番地	800	23.60
石垣 裕義	東京都文京区	696	20.55
(株)石垣共栄会	東京都文京区白山5丁目24番10号	338	9.97
石垣 靖子	東京都文京区	209	6.18
高島 順	東京都港区	135	3.98
日本マスタートラスト 信託銀行(株)(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	103	3.04
(株)さくらカaramel	大阪府八尾市上尾町4丁目1番10号	76	2.24
杉浦 由美子	神奈川県横浜市戸塚区	64	1.89
松本 智幸	大阪府八尾市	60	1.77
加藤 徹嘉	愛知県津島市	38	1.12
計	-	2,520	74.34

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式3,385,000	3,385	-
単元未満株式	普通株式 4,000	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	3,390,000	-	-
総株主の議決権	-	3,385	-

(注) 当社は平成25年8月28日開催の取締役会において、単元株式数を1,000株から100株に変更する旨の決議(効力発生日は平成25年10月1日)をいたしました。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の 氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
石垣食品 株式会社	東京都千代田区 飯田橋1丁目4番1 号	1,000	-	1,000	0.03
計	-	1,000	-	1,000	0.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	103,646	108,193
受取手形及び売掛金	¹ 115,610	¹ 125,353
商品及び製品	64,630	63,953
原材料及び貯蔵品	29,520	10,106
その他	3,662	2,865
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	317,069	310,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	55,893	54,225
機械装置及び運搬具(純額)	19,969	19,621
土地	47,780	47,780
リース資産(純額)	-	2,539
その他(純額)	1,846	2,270
有形固定資産合計	125,489	126,437
無形固定資産		
リース資産	-	9,004
その他	15,581	17,759
無形固定資産合計	15,581	26,763
投資その他の資産		
投資有価証券	22,105	12,229
その他	9,451	7,295
投資その他の資産合計	31,557	19,524
固定資産合計	172,628	172,724
資産合計	489,698	483,196

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,933	56,842
リース債務	-	2,536
未払法人税等	3,560	850
賞与引当金	4,306	3,966
未払金	24,275	32,176
その他	6,334	11,379
流動負債合計	94,410	107,751
固定負債		
リース債務	-	9,903
繰延税金負債	3,927	1,713
固定負債合計	3,927	11,617
負債合計	98,337	119,369
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	53,293	53,293
利益剰余金	44,486	11,472
自己株式	782	782
株主資本合計	396,996	363,983
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,479	3,094
為替換算調整勘定	12,116	3,251
その他の包括利益累計額合計	5,636	156
純資産合計	391,360	363,827
負債純資産合計	489,698	483,196

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	403,264	359,311
売上原価	235,140	244,369
売上総利益	168,123	114,941
販売費及び一般管理費	¹ 145,375	¹ 146,763
営業利益又は営業損失 ()	22,748	31,821
営業外収益		
受取利息	109	329
受取配当金	178	174
雑収入	19	67
営業外収益合計	308	571
営業外費用		
支払利息	-	117
為替差損	2,952	1,821
雑損失	130	24
営業外費用合計	3,082	1,963
経常利益又は経常損失 ()	19,973	33,213
特別利益		
投資有価証券売却益	-	4,894
特別利益合計	-	4,894
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ()	19,973	28,318
法人税、住民税及び事業税	2,221	290
法人税等合計	2,221	290
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 ()	17,751	28,608
四半期純利益又は四半期純損失 ()	17,751	28,608

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	17,751	28,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	166	3,385
為替換算調整勘定	912	8,865
その他の包括利益合計	746	5,480
四半期包括利益	18,498	23,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,498	23,128
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	19,973	28,318
減価償却費	7,808	5,766
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	-
賞与引当金の増減額(は減少)	1,791	339
受取利息及び受取配当金	288	503
支払利息	-	117
為替差損益(は益)	2,455	1,426
投資有価証券売却及び評価損益(は益)	-	4,894
売上債権の増減額(は増加)	52,324	9,734
たな卸資産の増減額(は増加)	17,829	24,304
仕入債務の増減額(は減少)	25,249	1,430
未払消費税等の増減額(は減少)	2,005	1,540
その他	17,200	17,080
小計	2,031	919
利息及び配当金の受取額	504	503
利息の支払額	-	117
法人税等の支払額	1,742	3,241
営業活動によるキャッシュ・フロー	792	3,775
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	17	-
定期預金の払戻による収入	-	32,904
有形固定資産の取得による支出	2,052	1,902
投資有価証券の売却による収入	-	9,172
敷金の回収による収入	-	1,817
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,069	41,991
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	-	4,404
リース債務の返済による支出	3,458	829
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,458	5,233
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,317	3,639
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	6,053	36,622
現金及び現金同等物の期首残高	94,568	71,571
現金及び現金同等物の四半期末残高	88,514	108,193

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	473千円	-千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
販売促進費	62,612千円	63,078千円
役員報酬	11,124	12,924
給料手当	21,111	23,334
賞与金	2,192	1,091
賞与引当金繰入	2,691	2,735

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	98,323千円	108,193千円
預入期間が3か月を超える定期預金	9,808	-
現金及び現金同等物	88,514	108,193

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は平成24年6月28日付で、欠損填補のため、資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分を行っております。この結果、当第2四半期連結会計期間末における資本金が300,000千円、資本剰余金が53,293千円、利益剰余金が39,646千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 配当に関する事項

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	4,404,687	1.3	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額
	飲料事業	珍味事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	216,778	181,835	398,613	4,650	403,264	-	403,264
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	216,778	181,835	398,613	4,650	403,264	-	403,264
セグメント利益	38,205	26,914	65,119	951	66,071	43,323	22,748

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナルト事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 43,323千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用43,323千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額
	飲料事業	珍味事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	185,333	171,088	356,422	2,888	359,311	-	359,311
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	185,333	171,088	356,422	2,888	359,311	-	359,311
セグメント利益又は セグメント損失 ()	19,015	7,472	11,542	308	11,851	43,672	31,821

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナルト事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 43,672千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用43,672千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額()	5円23銭	8円44銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(千円)	17,751	28,608
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(千円)	17,751	28,608
普通株式の期中平均株式数(株)	3,388,221	3,388,221

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月7日

石垣食品株式会社
取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員 公認会計士 村本 泰雄 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 辻村 茂樹 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている石垣食品株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、石垣食品株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。